令和８年度　　通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点
地理歴史	地域研究	2	選択科目

指導目標	生徒の居住地域又は学習センター所在地を中心とする身近な地域について、諸資料から歴史・文化・産業・自然環境等に関する情報を適切に調べてまとめる技能を身に付ける。地域の特色と課題を多面的・多角的に考察し、地域社会の形成に主体的に関わろうとする態度を養う。

教科書	副教材等	添削指導	面接指導
学校作成教材・各地域の資料		6回	2単位時間

多様なメディアを利用した学習による面接指導時間数の減免実施の有無			多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	該当なし
	☐	実施している		
	☑	実施していない		

添削指導（レポート）

回	学習内容	対応する面接指導の回	提出期限
1	生徒の居住地域又は学習センター所在地の歴史について資料を収集し、地域の成立と変化を調べる。	1	5月13日
2	身近な地域の文化・産業・生活について調べ、その特色をまとめる。	1	6月6日
3	身近な地域が属する都道府県の歴史について、複数の資料を比較して考察する。	1	7月4日
4	当該都道府県の文化・産業・人口等の特色と地域課題について調査し、考察を文章で表現する。	2	8月8日
5	当該地域が属する地方の歴史・文化を概観し、他地域との共通性と固有性を考察する。	2	11月11日
6	身近な地域で想定される自然災害とハザードマップを調べ、防災・減災の取組を考える。	2	1月20日

面接指導(スクーリング)

回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		生徒の居住地域又は学習センター所在地の歴史・文化・産業について資料を読み取り、地域の特色を考察する。	各学習センター	5月
2		各地域の課題及び身近な自然災害を取り上げ、地域社会の将来や防災・減災の方策を考察する。	各学習センター	6月

多様なメディアを利用した学習

計画段階では実施予定なし

試験

回数	試験範囲	実施場所	実施日
1	レポート1～3	各学習センター	9月
2	レポート4～6	各学習センター	2月

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準

添削指導、面接指導、試験の結果を、本校の「学習評価および単位認定の方針」及び評定基準に基づき総合的に評価する。所定の添削課題の提出、面接指導の受講及び試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。

その他

各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。